

プログラム

当番世話人 挨拶 (14:25 ~ 14:30)

当番世話人：占野 賢司 (大阪市立総合医療センター循環器内科)

Session 1 (14:30 ~ 15:50)

座長：江神 康之 (大阪ろうさい病院循環器内科)
高見 充 (神戸大学大学院医学研究科循環器内科学分野)

1-1 パルスフィールドアブレーション (VARIPULSE®) による肺静脈隔離術における上大静脈への影響の報告 (本邦初症例の検討)

大崎 慧 (NHO 大阪医療センター循環器内科)

1-2 大心静脈とマーシャル静脈両者からの左房への心外膜伝導が同時に観察され、回路の同定に entrainment pacing が有用であった peri-mitral flutter の 1 例

岩佐 浩平 (桜橋渡辺未来医療病院不整脈科)

1-3 特異なジェネレーターインピーダンス挙動を呈した著明な多血症の 1 例

関原 孝之 (大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学)

1-4 リセット現象を利用し、より詳細な回路同定をし得た心房頻拍の 1 例

松本 直己 (大阪市立総合医療センター循環器内科)

1-5 Bystandar Nodoventricular Pathway を伴う Fast/Slow AVNRT において、特徴的な Para-hisian pacing 所見を認めた 1 例

中野 貴仁 (兵庫県立淡路医療センター循環器内科)

1-6 冠静脈洞内心室側の通電により離断に成功し、冠静脈—左心室間の Kent 束が示唆された難治性 WPW 症候群の 1 例

鈴木 雄也 (北播磨総合医療センター循環器内科)

1-7 右冠尖・左冠尖間のマイクロ電極でのみ記録できた電位が必須緩徐伝導路と考えられた拡張型心筋症の 1 例

塚本 祥太 (兵庫県立はりま姫路総合医療センター循環器内科)

1-8 冠動脈損傷リスクが高く心外膜アブレーション治療困難な持続性心室頻拍に対して、Chemical ablation が有効であった 1 例

栗山 智有 (兵庫県立尼崎総合医療センター循環器内科)

Session 2 (15:55 ~ 17:15)

座長：土井 淳史 (多根総合病院循環器内科)
田中 宣暁 (桜橋渡辺未来医療病院循環器内科)

2-1 外科的中隔切開線を isthmus として双方向に旋回する Bi-atrial tachycardia に対して伝導特性の変化が根治に有用であった 1 例

木村 光輝 (医学研究所北野病院不整脈科)

2-2 治療中には極少数しか出現せず、誘発も困難な心房頻拍に対して iPASO map を活用し治療し得た 10 歳代女性の有症候性心房頻拍の 1 例

庄田 光彦 (神戸大学医学部附属病院循環器内科)

2-3 外科的左心耳閉鎖術後に左心耳を旋回する心房頻拍を含めた、複数の心房頻拍を認めた 1 例

入潮 壮俊 (ベルランド総合病院循環器内科)

2-4 三尖弁輪後外側に接続した房室結節遅伝導路を介する Fast/Slow 型房室結節リエントリー性頻拍の 1 例

高見澤幸一 (大阪市立総合医療センター小児循環器不整脈科)

2-5 頻拍中および心房ペーシング下の Open window mapping で複数の副伝導路が同定でき、離断に成功した症例

福田 優人 (大阪急性期・総合医療センター心臓内科)

2-6 心房期外刺激により NV fiber を逆伝導路とする正方向性房室回帰生頻拍と診断できた発作性上室性頻拍症の 1 例

大菅 瑞生 (大阪ろうさい病院循環器内科)

2-7 心外膜側に必須緩徐伝導路を有する陳旧性心筋梗塞を背景とした心室頻拍において wall thickness imaging の有用性が示唆された 1 例

松浦 悠 (国立循環器病研究センター不整脈科)

2-8 Late Annotation Mapping module により不整脈基質を描出し得た Brugada 症候群の 1 例

渋谷 祐樹 (大阪警察病院循環器内科)

休憩 (17:15 ~ 17:25)

特別講演 (17:25 ~ 18:25)

座長：占野 賢司 (大阪市立総合医療センター循環器内科)

Line of conduction blockとVT boundary

~3-D circuitを治療するために~

西村 卓郎 (東京医科歯科大学)

共催：日本光電工業株式会社 / アボットメディカルジャパン合同会社

優秀演題表彰・閉会の挨拶 (18:25 ~)

代表世話人：高木 雅彦 (関西医科大学総合医療センター 不整脈治療センター)